

さんかく21・Anjo

— 子どもと学ぶ性の話 —



性の伝え方って・・・むずかしいですよね

‘性’って恥ずかしい
‘性’ってドキドキする
いつ、どうやって、何を伝えたらいい？
逆に性行動が活発になるのでは？
学校におまかせしたい・・・



2026.6.27 講演会『「いつから？どう話す？」 幸せに生きるための性の話』のようす

AIが私たちの暮らしに自然と溶け込み、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきました。情報があふれる今だからこそ、心と体を大切に、自分や相手を尊重する力を育む包括的性教育がますます大切になっています。また、性別にとらわれず、一人ひとりが自分らしく活躍できる社会づくりは、未来を生きる子どもや若者の可能性を広げる大切な土台です。AI時代だからこそ、人間同士の関わりを大切にしながら、誰もが尊重される男女共同参画の社会を、共に築いていきましょう。

さんかく21・安城 会長 加藤 早苗

目 次

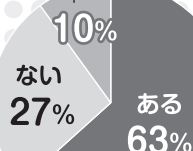
家庭での性教育は どうしていますか？……………	P2
「包括的性教育」ってなあに？……	P3
スマホが育てる？それとも壊す？ AI時代に生きる子どもの心……	P4
「いつから？どう話す？」 幸せに生きるための性の話……	P4

家庭での性教育はどうしていますか？

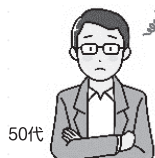
家庭での性教育について、幼児から大学生のお子さんを持つ保護者の方にアンケートを実施しました。ご協力いただいた33人の本音が詰まった回答結果をご紹介します。

1 子どもの性のことで心配はありますか？

答えたくない



30代



50代

男女を問わず **性被害** に巻き込まれないか心配！

SNS などから **誤った情報** を先に知ってしまうことが不安！

好きな相手から **性的行為** を求められた場合、きっぱり断れないのではないかと心配になる。

30代

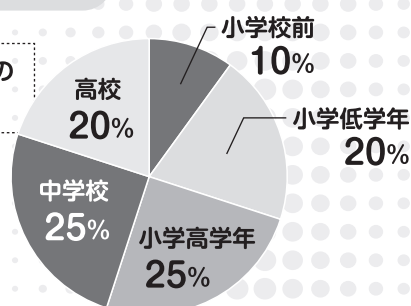


2 性の話を子どもにしたことがありますか？ 何歳くらいの時に？

性の話を子どもにしたことがある？



何歳くらいの時に？



3 どんな話をしましたか？

40代



小学校2・3年の頃、「水着で隠れる場所（**プライベートゾーン**）は人に見せたり触らせたりしないよ！」「勝手に触ることもいけないよ!!」と伝えた。

生理がきたときに、「身体が傷つくのは女の子の場合が多いよ！」「自分の身体は大切にしようね！」「いやなことは『**いや!**』と言っていいよ!」と教えた。

50代



10歳頃、息子と絵本を読みながら、**体と心の変化** について分かりやすく伝えた。

40代



4 トラブルにあったらどうしますか？

30代



まずは、子どもの話を **否定せず聴き** 家庭で話し合う。
否定せず聴くことが大切！

家庭だけで抱え込まず、学校や専門機関*（保健センター）などに相談する。

* 安城市思春期保健相談ルーム（電話番号：0566-76-1133）

40代



多くのご家庭が子どもの性について心配ごとがあることが分かりました。「人には話しにくい」「子どもへの伝え方が分からない」「相談先が分からない」というご家庭もあれば、きちんと話し合いをしているご家庭もあり対応もさまざまでした。性について親子で考え学ぶことは、命と尊厳を大切にする「生き方の教育」でもあります。それぞれの家庭らしい形で、子どもたちに大切なメッセージを伝え続けていきましょう。

「包括的性教育」ってなあに？

性は子どもたちが幸せに生きていくために避けられない大事なテーマです。では、私たち大人は子どもたちに何ができるでしょうか？

単なる生殖器官や妊娠についての知識の伝達ではなく、幅広い教育である「包括的性教育」※の視点を紹介します。

※包括的性教育とは、2009年ユネスコがWHO等と共同で提唱した国際セクシュアリティ教育ガイダンスに基づく世界基準の性教育です。

1 人間関係

家族・友人・恋愛など多様な人間関係を通して尊重や対等性を学ぶ。

8 性と生殖に関する健康

生理・妊娠・性感染症など性と生殖に関する健康を学ぶ。

2 価値観、人権、文化、セクシュアリティ

性に関する多様な価値観や文化を尊重し、人権・自己決定・情報へのアクセスの大切さを学ぶ。

7 セクシュアリティと性的行動

性的同意・避妊・性感染症などに関する情報を得て、責任ある行動ができる力を養う。

包括的性教育の 8つの要素 (キーコンセプト)

6 人間のからだと発達

思春期や年齢によるからだ・感情の変化を学び、自分のからだを理解し個人差を尊重する。

3 ジェンダーの理解

性自認^{*1}・性的指向^{*2}・ジェンダーの多様性を理解し、自己と他者を尊重する力を育む。

※1 自分の性別をどのように認識しているか

※2 どの性別を恋愛や性愛の対象とするかを示す

4 暴力と安全確保

性暴力、いじめ、デートDVなどあらゆる暴力に対処する知識と安全を守るスキルを学ぶ。

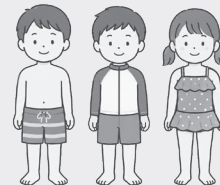
5 健康と幸福のためのスキル

心身の健康を保つための意思決定やストレス対処など実践的なスキルを学ぶ。

具体的には？

からだの発達やセクシュアリティ、性的行動については、幼児期から中高生まで、年齢や発達段階に応じた内容と伝え方が大切です。

8つのキーコンセプトを、年齢や発達に合わせて段階的に伝えることで、理解を深めていきます。



私たちのプライベートゾーン※
人によってちがうよ

※プライベートゾーン：
水着で隠れる所や口などの
自分の大切なところ

年齢別のアプローチ

幼児～低学年 (5～8歳)

- 誕生のしくみ
- 自分の安全の守り方
- 自分も周りも大切にするための同意

似ているけれど違うところもある、みんな違ってみんな素晴らしいことを伝えましょう。

小学校高学年 (9～12歳)

- 性とはどんなものか
 - 受精と妊娠のしくみ
 - からだにどんな変化が起こるのか
- 子ども自身が「ありたいあり方」でいられるよう見守りましょう。自分のからだと心の変化を受け入れ、成長スピードの差を他者と比べて心配する必要はないと教えてあげましょう。

中学生 (12～15歳)

- 妊娠の兆候
- 意図しない妊娠を防ぐ方法
- 取り引き的な性的行為のリスク

SNS等の偏った情報に振り回されないようメディアリテラシーを身につけましょう。子どもに「ありのままのあなたがすてきだ」と伝えましょう。

高校生 (15～18歳)

- 生殖、性的機能、性的欲求の違い
- 性行為における責任、人工中絶

自分のウェルビーイング実現のために、責任をもって意思決定できる基盤を固めましょう。性暴力にあってしまった場合の助けやケアへのアクセス方法を教えましょう。

私たち大人も性についての教え方を学び、アップデートする必要があります。子どもが自分のからだや感情、人間関係を理解し、自信を持って行動できる力を大人と一緒に育むことが大切です。単に知識を伝えるだけでなく子どもと対話しながら、子ども自身が「自分が大事」と思えることが、幸せな未来につながります。

令和7年度

男女共同参画オンラインセミナーを開催しました！ 令和8年2月28日(土)



スマホが育てる？ それとも壊す？ ～ AI時代に生きる子どもの心～

講師：佐藤 朝美氏

愛知淑徳大学人間情報学部 教授

デジタル社会に生きる子どもたちは、トラブルに巻き込まれたりするリスクも増えています。
子どもを守り育てるために、家庭でできることについて学びました。

《不安な気持ちの整理》

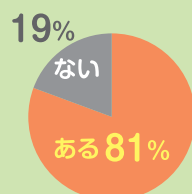
AIとの過度な関わりがメンタルヘルスに及ぼす影響への懸念、乳幼児期からのスマホの長時間利用など、さまざまな課題があります。スマホの使用制限だけではなく、大人も一緒に学びながら、子どもが自分で考え、生きる力を育てられるよう支えることが大切です。

《守り支える》

子どもが安全にデジタル機器を使えるよう、デジタルリテラシーを育てるとともに、心身の健康に気を配ることが大切です。家庭だけでなく、国・学校・地域などが連携して支えていく必要があります。

《判断基準》

子どもにスキル(デジタルの活用、真偽の判断など)を身につけ判断の基準をもたせること、また、家庭でのモノサシも大事です。



【参加者の声】

不安や問題がありますか？

- 親自身デジタルのことが分からない。
- 問題のあるサイトの見極めが難しい。
- 子どもと一緒に家庭のルールを作ったけれど上手くいかなかった。

感想

- スマホの良い面、悪い面を理解して、子どもと向き合っていくことも大事だと思った。
- 大人が理解していないからと規制するのではなく、子どもの能力を伸ばすツールと考え、上手く使いこなすために、大人が学ばなくてはと思った。

令和8年度

男女共同参画週間イベントを開催しました！

令和8年6月27日(土)

安城市民交流センター多目的ホール



「いつから？ どう話す？」

幸せに生きるための性の話

講師：伏田 綾氏

Ansluta代表(助産師、性教育講師)
ナーベルプラ座代表

自分にも相手にも「いいよ」と「いやだ」を分ける線＝境界線(バウンダリー)があり、自分を守る安心バリアです。同意を取る、取られることがすべてにおいて必要で、境界線が守られない時は、いやだと思っていし、いやだと言っているのです。自分の子どもに接する時も、「おむつを替えていいかな？」「写真を撮っていいかな？」と声掛けをすることで将来の性的同意の充実につながります。

【参加者の声】

- 子どもたちにどう声掛けしたらいいか、具体的に聞くことができて、とても学びになりました。(30代)
- 自分がやっていたことが性暴力だったのかもしれないとハッとしました。子どもに対しても同意を取る習慣づけをしたいと思います。(20代)
- 性教育は日常生活の中や会話の中にあるのだと気づきました。(50代)
- 子どもに「どうやって生まれてきたの？」と聞かれたら、「いい質問だね。一緒に調べてみようか。」と声掛けするのは、とてもいいなと思いました。(70代)

●「さんかく21・安城」とは●

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループのネットワークの会です。

(令和8年4月現在のグループ一覧・順不同)

安城国際交流友の会 / 安城市食育健康づくりの会
安城更生保護女性会 / 刈谷・知立・安城おやこ劇場
日本デンマークルネッサンス推進機構
国際交流安城はなのき会 / やはぎ会安城支部
ボランティアネット北明治の会 / NPO法人ing
指定生活介護事業所ぬくもりの家
ウイメンズネット安城 / BFFクラブ / チームゆめぼん
13団体 個人会員35名

編集 後記

43号編集委員

家庭での性教育について保護者アンケートをもとに作成しました。分かりやすく伝えることの難しさを感じましたが、若い実行委員の新鮮な意見に支えられ、何度も話し合いを重ねました。この情報誌が、ご家庭で性教育について考えるきっかけになれば幸いです。

加藤早苗・小鹿登美・杉浦弘子
堤 麻紀・久恒美香

企画・編集：さんかく21・安城

発行：安城市

問合せ先 安城市役所市民生活部市民協働課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23
Tel (0566)71-2218 Fax (0566)72-3741
Mail kyodo@city.anjo.lg.jp